



甲府市 薬剤師会 だより

2023年6月

公益社団法人 甲府市薬剤師会
〒400-0857 甲府市幸町14-6
電話番号055-236-5200
FAX番号055-236-5201

皆様の健やかな暮らしを願って

第15号

新型コロナウイルス感染症とmRNA ワクチン

(公社) 甲府市薬剤師会 会長 植松 俊彦

コロナウイルスとは、表面に突起がある球形をしたウイルスの総称で、その形態が王冠に似ていることから、ギリシア語で王冠を意味する“コロナ”という名前が付けられたと言われています。

以前より、風邪の原因として広く蔓延している4種類のコロナウイルスがわかっていましたが、その後2002年に中国で発生した「重症急性呼吸器症候群」の原因ウイルスとしてSARS-CoV、2012年にサウジアラビアで発生した「中東呼吸器症候群」の原因ウイルスとしてMERS-CoVが発見されました。今回、2019年に中国の湖北省武漢で最初に確認された「新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)」の原因ウイルスとしてSARS-CoV-2が発見されたことにより、ヒトに感染するコロナウイルスは7種類となりました。

2020年初頭より日本国内でも感染者が増え始め、新型コロナ感染によるウイルス性肺炎により“志村けんさん”“岡江久美子さん”はじめ多くの方が亡くなりました。また、現在主流となっているオミクロン株の変異ウイルスによ



る感染は、以前より重症化のリスクは低いとされていますが、基礎疾患の悪化や入院中に別の合併症を発症して死亡するなどの報告が入っています。また、基礎疾患の

無い若い人の死亡例など、あきらかにインフルエンザや風邪とは症状が違ってきます。

感染を拡大させないためには「必要な場面でのマスクの着用」「手洗い・うがい」「3密の回避」「換気」「ワクチン接種」などが必要ですが、新型コロナワクチンは日本でも2021年2月にファイザー社のワクチン、5月にはモデルナ社とアストラゼネカ社のワクチンが薬事承認され予防接種が始まりました。甲府市でも4月に相生地区の65歳以上を対象としたモデル接種が始まり、その後現在に至っています。

甲府市が行う集団接種には甲府市の医師会・歯科医師会・薬剤師会・看護協会などが協力していますが、甲府市薬剤師会は、皆さまが接種するワクチンの希釈・充填作業を行っています。

集団接種で使用するワクチンは mRNA ワクチンという種類のもので、今回使用されているワクチンは短期間で作られたように一部では思われていますが、実は mRNA を利用するワクチンの研究開発は 1990 年から始められていました。今回初めて新型コロナワクチンとして実用化することができたのですが、とても不安定なワクチンのため直射日光や紫外線を避ける、振動や衝撃を避ける、ファイザー社のワクチンは 30℃以下で保存、モデルナ社は 25℃以下で保存など細心の注意を払いながら薬液の調整を行っています。

これからも新たな変異株の発生やインフルエンザとの同時流行が懸念されていますが、インフルエンザに使うタミフルのような内服薬がまだ開発されていない現在、この感染拡大を防ぐためにもワクチン接種は大切になってくると思います。



ワクチンを接種することで、私たちのからだはその病気に対する「免疫」を作り出します。ただこれによりその病気にまったくかからないというわけではなく、もしかかった場合でも重症化を防ぐという役割をします。

ワクチンの役割はそれだけではありません。自分が接種することで、自分のまわり（家族・同僚など）に感染拡大するのを防ぐことができます。しかし、予防接種を受けたくても受けられない人もいます。ワクチン接種は義務ではありませんが、こうした人たちを守るためにも協力していただけたらと思います。

甲府市薬剤師会は新型コロナ感染症に限らず、365 日、深夜でも救急調剤薬局にて薬や健康などの相談を受け付けています。その他市民の皆さまの、安心・安全で健康な生活を守るお手伝いをしておりますので、何かありましたらお気軽に薬剤師にご相談ください。

令和 4 年度 市民くすりと健康の 講演会を開催して

(公社) 甲府市薬剤師会
生涯学習委員会
神津 伸治

令和 4 年 9 月 4 日山梨県立図書館多目的ホールにおいて、東薬会スキルアップ研修会の講師、嶋村琴乃先生をお招きし「医薬品の特性と正しい管理方法について」と題した、市民くすりと健康の講演会を開催致しました。当日は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、会場への収容人数を 50 人と制限し（全席座席指定）、手指消毒、検温を実施し、感染予防対策を行いながら開催しました。



講演会の様子

講演では医薬品の特性や医療用医薬品と OTC 医薬品の違いなどについてお話いただきました。体調が悪くなった時に行くのは、病院か薬局か、また、なぜ処方箋の使用期限が 4 日以内に定められているのか、なぜ医薬品には用法・用量が決められているのか、などスライドを用いて丁寧に説明してくれました。



講演会の様子

医薬品の使用期限や、期限切れの薬品の使用による不都合について説明していただき、飲み忘れ等によって自宅に残ってしまった薬があった時、自分の判断で他人に服用させることの危険性や、医薬品の品質保持のため高温多湿、及び直射日光を避けることの意義についての詳しい話がありました。また、ポリファーマシー（多くの薬を服用することにより副作用などの有害事象を起こすこと）のデメリットについての話では、医療従事者とのコミュニケーション不足が改善されなければ目標とする治療効果が得られない恐れがある

こと、また患者が病気を理解し、治療に対しても主体的に関わること、つまりアドヒアランスの向上により、高い治療効果が期待できることを説明してくれました。相互理解を高める為には、気になることをかかりつけの医師及び薬剤師に相談することの必要性を強調していました。

まとめとして、「医薬品は適正に管理する事により効果を発揮することができる。」と締めくくられました。



講演会の様子

参加者からは嶋村先生に対して多くの質問が投げかけられ、盛況のうちに講演会は終了しました。

今回実施した市民くすりと健康の講演会の開催についてのアンケート調査には10～90歳代まで幅広い年代の方に参加していただきました。①この講演会を何で知ったか、については、新聞広告が一番多く、次に昨年も参加したからという人が多かったです。②講演時間については最適が最も多く、③講演の内容については、参考になった、もっと詳しく話して欲しかった、などの意見が多く寄せられました。

生涯学習委員会では、これからも市民の皆様役に立つテーマで講演会を開催していきたいと思っています。

「漢方」について⑤

～お屠蘇～

アトム薬局 大里店
杉野 二三

お正月におせちを頂く…は、よく聞くとお屠蘇を頂くという習慣を皆さまはご存知でしょうか。お屠蘇というと、単に日本酒のことを指す場合もありますが、本来、お屠蘇とは「屠蘇散（とそさん）」または「屠蘇延命散」と呼ばれる5～10種類の生薬を配合した漢方薬を漬け込んだお酒のことを言います。

平安貴族の正月行事となっていたようです。それが江戸時代には、福寿を招くと言われ一般庶民にも浸透し、現在にも受け継がれてきたようです。



お正月に無病長寿を願って飲まれるお屠蘇の由来は、「蘇」という悪鬼を屠るという説や、邪を屠り生気を「蘇生」させるという説があります。その歴史をたどって行きますと、中国の三国時代、『三国志』の時代まで遡ることが出来ます。『三国志』は、中国の後漢末期から三国時代にかけて、蜀・魏・呉の三国が争覇した三国時代の歴史を述べた歴史書として有名ですが、魏政権の創設者として登場する曹操（155-220年？）の専属医師であった、華佗（後漢末；109？-208？）が、不老長寿になれる薬酒としてお屠蘇の元となる「屠蘇散」を考案したと言われています。日本では紀貫之が著した『土佐日記』にその名があり、

屠蘇散の薬味は諸説ありますが、当薬局で作製しているものは以下の通りです。

1. 山椒：胃腸機能を改善します。
2. 桔梗：咳や痰、のどの痛みに効果があります。
3. 桂皮：冷え症や痛み効果があります。
4. 白朮：利尿作用、胃腸機能を改善します。
5. 防風：かぜや皮膚疾患、痛み効果があります。
6. 細辛：かぜや咳、痛み効果があります。
7. 乾姜：冷え症や胃腸機能を改善します。

この7種の生薬から、お屠蘇は胃腸を整える効果、体を温める効果、風邪の予防効果が期待出来ます。また、お酒に浸すことによって薬力を巡らせる効果が高まります。

飲み方は、屠蘇散を日本酒（アルコールの弱い方は本みりんでも代用可能）に大晦日の夜浸し、元旦に頂きます。お屠蘇はおせちを食べる前にいただきます。地方にもよりますが、飲む順番は年少者から年長者へと進めていくと良いとされています。これは若者の活発な生気を年長者が飲み取るという意味合いがあるためです。また、厄年の人は厄年以外の人に厄を祓う力を分けてもらうため、最後に飲むとよいと言われています。

ここ数年のコロナ禍の中、大変な想いをされた方が多かったのではないのでしょうか。まだまだ先の見通しが付きづらい世の中になってきております・・・この状況が一日も早く解消され、平穏な日々を取り戻せるよう心から願うばかりです・・・。

皆さまも来年のお正月には、ご家族みんなの無病息災を祈って「屠蘇散」で作った「お屠蘇」を頂いてお祝いしてみるのはいかがでしょうか。

いきいきサロン等

甲府市薬剤師会では、甲府市内の高齢者学級やいきいきサロンが行っている学習会へ薬剤師講師を派遣します。

質疑応答含めまして1時間程度「くすりとの上手なつきあい方」

についてお話をさせていただき、医薬品の適正使用に関する普及啓発活動を行っています。

令和4年度実績

南塔岩自治会いきいきサロン
2022年4月24日（日）
場 所：北新団地集会場
講 師：飯野 智 先生

新紺屋高齢者学級
2022年5月9日（月）
場 所：北東公民館
講 師：数野 庸 先生

千塚高齢者学級
2022年5月11日（水）
場 所：北公民館
講 師：宮田 尚子 先生

石田高齢者学級
2022年6月24日
場 所：石田悠遊館
講 師：渡邊 泉 先生

大手東部いこいの広場
2022年9月15日（木）
場 所：大手東部自治会館
講 師：櫻井 裕美 先生

蓬沢いきいきサロン
2022年11月8日（火）
場 所：蓬沢公民館
講 師：安永 清徳 先生

池田地区高齢者学級
2022年12月15日（木）
場 所：甲府市西公民館
講 師：杉田 恵 先生

池田地区高齢者学級
2023年1月26日（木）
場 所：甲府市西公民館
講 師：市井 貴裕 先生

梅姫学級かるがも学級
2023年2月22日（水）
場 所：甲府市南西公民館
講 師：東島 孝親 先生



いきいきサロンの様子

お申し込み方法

令和5年度（令和5年4月～令和6年3月）の薬剤師講師派遣をご希望の高齢者学級・いきいきサロンのご担当者様は、甲府市薬剤師会事務局までお電話ください。その後お申込み用紙をご送付いたします。

甲府市薬剤師会 事務局
TEL：055-236-5200
平日9時～17時

第15号 2023年6月12日
発行/(公社)甲府市薬剤師会
編集担当/会報編集委員会